

平成24年4月26日

日本マルチペイメントネットワーク推進協議会
日本マルチペイメントネットワーク運営機構

電子決済「Pay-easy (ペイジー)」利用が10年連続で拡大！

平成23年度取扱実績：利用金額7.4兆円

平成24年4月、さらに地方公共団体6団体にてサービス開始

電子決済サービス「Pay-easy (ペイジー) 収納サービス (注1)」の利用金額および利用件数がサービス開始以来10年連続で拡大し続けています。

さらに平成24年4月より、新たに地方公共団体6団体がペイジー収納サービスを開始しました。特に斑鳩町は町として初めてペイジー収納サービスに対応しました。ペイジーは町まで浸透し、今後の広がりが期待されています。

【平成23年度「ペイジー収納サービス」の利用状況】 <図1、図2参照>

- 総利用金額 7.4兆円 (前年度比 約112%)
- 総利用件数 45.7百万件 (前年度比 約110%)

ペイジー収納サービスの年間利用金額・利用件数ともに昨年度を上回り、10年連続で拡大中です。

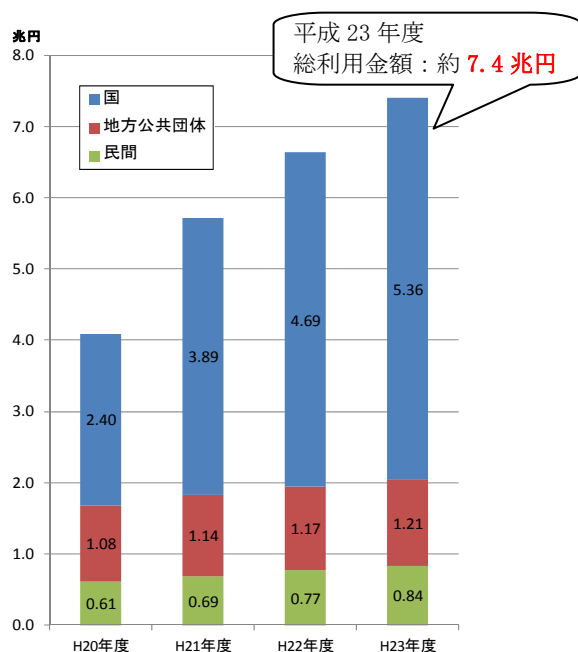


図1. ペイジー収納サービス年度別利用金額推移

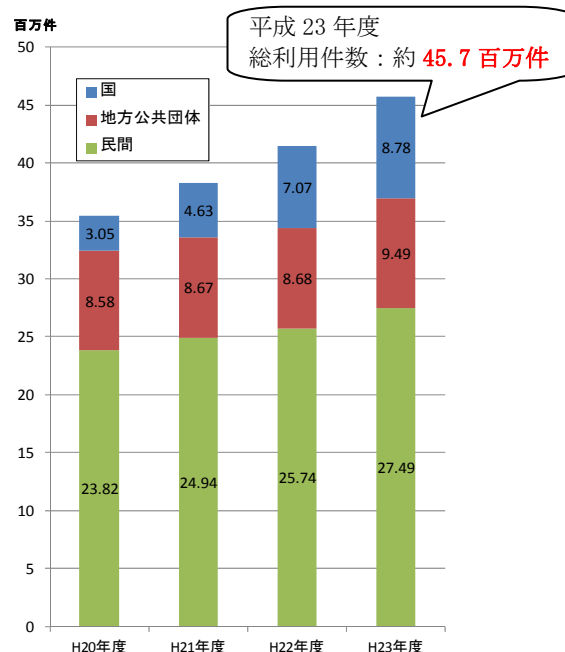


図2. ペイジー収納サービス利用件数推移

国庫金で大きな伸びを見せている「ダイレクト方式 (注2)」の更なる利用拡大、地方公共団体のペイジー対応拡大、公共料金分野のペイジー収納対応拡大、ペイジー対応金融機関ATMの普及が予定されていることなどから、平成24年度は、利用金額8兆円、利用件数48～53百万件を見込んでいます。

【平成23年度「ダイレクト方式」の利用状況】

<図3参照>

- **取扱金額 1.0兆円**（前年度比 約174%）
- **取扱件数 3.3百万件**（前年度比 約160%）

平成23年度は、特に国庫金収納における「ダイレクト方式」でのペイジーの利用が拡大し、金額・件数ともに大幅に伸びています。ダイレクト方式の年間取扱金額は1兆円を超え、平成22年度と比べ年間取扱件数が100万件超の増加となりました。

ペイジーの国庫金収納における年間件数の約4割をダイレクト方式が占めており、ダイレクト方式は重要な収納方式となってきています。

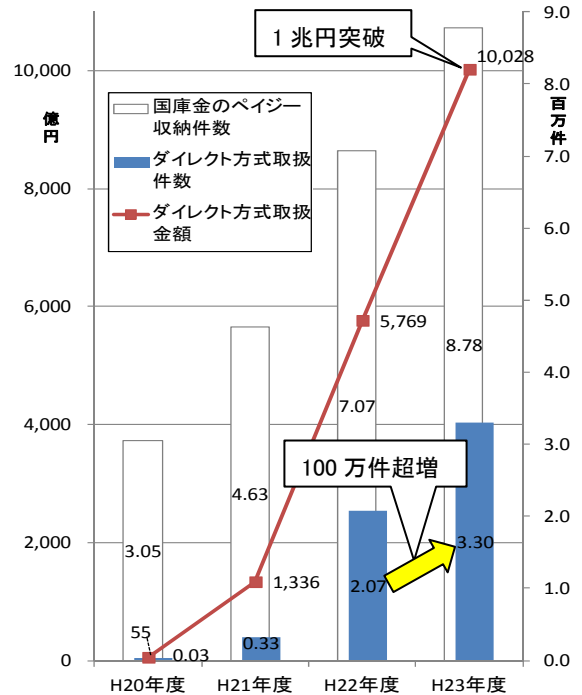


図3. ペイジー収納サービス 年度別国庫金収納件数
およびダイレクト方式取扱件数・金額の推移

【平成24年4月地方公共団体6団体にて「ペイジー収納サービス」の新規開始】

～ペイジー収納サービス初の“町”斑鳩町にてサービス開始～

以下の地方公共団体6団体にて、平成24年4月より新たにペイジー収納サービスを開始しました。

印西市（千葉県）、寝屋川市（大阪府）、斑鳩町（奈良県）、
福岡市（福岡県）、石垣市（沖縄県）、浦添市（沖縄県）

今後も複数の地方公共団体でサービス開始が検討されています。

推進協議会および運営機構は、皆様に便利で安心な決済手段を提供するため、引き続きペイジーのサービス向上、益々の普及・利用促進に努めてまいりますので、今後とも関係各位のご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上

(注1) ペイジー収納サービスとは

- ・ 税金や公共料金、各種料金などを、パソコンや携帯電話、ATM等を利用して、「いつでも、どこでも、あんしん、かんたん」に支払うことができるサービスです。
- ・ 「Pay-easy」マークが付いている納付書・請求書や、支払い方法として「ペイジー」が選択できるサイトでの料金の支払いなどに利用でき、多額の資金でも安全かつ確実に決済することが可能です。

(注2) ダイレクト方式とは

- ・ 税金や手数料等の納付者が、収納機関のWEBサイト等にて電子申請を行うことにより、ワンストップで電子納付まで完了する方式です（あらかじめ、納付者、収納機関、金融機関の三者間での口座振替契約が必要です）。

連絡先：日本マルチペイメントネットワーク推進協議会事務局 小倉、清水
「Pay-easy（ペイジー）」ホームページURL：http://www.pay-easy.jp